



土屋

防災ニュース

2025.4 Vol.5

Writer : Kaori Hara
Yumiko Komoto



ハザードマップをご存知ですか？ハザードマップは、自然災害による被害を予測し、危険な地域や避難場所を示した地図です。洪水、地震、津波、土砂災害などのリスクを可視化し、防災対策として使えるように国土省や自治体が作成しています。これを活用することで、自分の住む地域や支援先、移動エリアの危険な場所や安全な場所を事前に把握できます。『もしもの時の対策』として調べてみましょう。



ハザードマップの見方のポイント

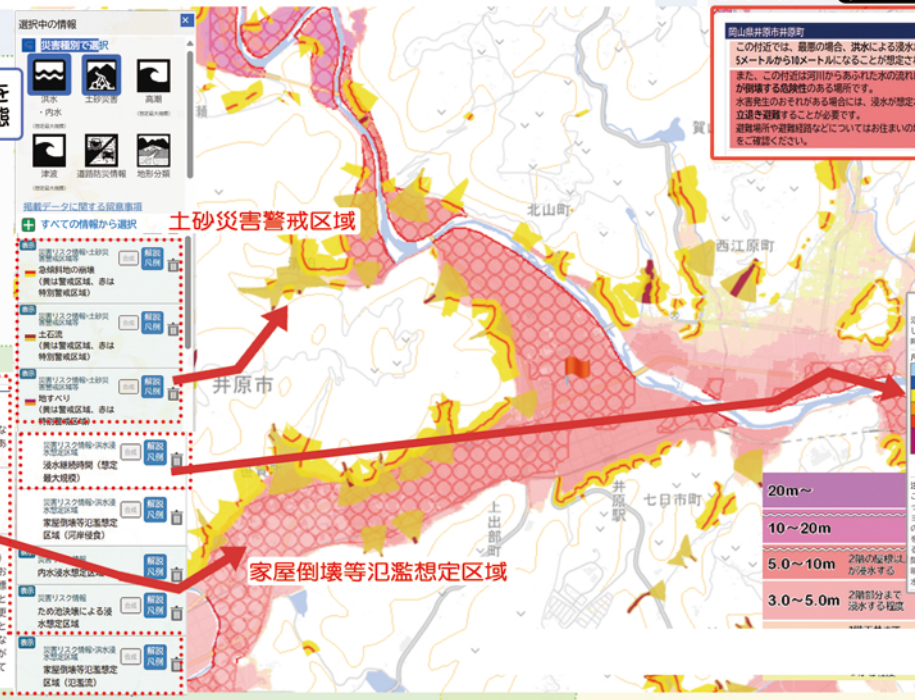
まずは **ハザードマップポータルサイト**

検索

スマホ検索は
ここから



ここでは国土交通省のハザードマップを見ます
検索をして最初に出る情報は、洪水・高潮・津波などの複数の浸水リスクのうち、**浸水深が最も大きい災害種別の情報だけ**が表示されます。



◆国土交通省

身のまわりの災害リスクを調べる
（重ねるハザードマップ）

調べたい場所の住所を入れる
住所から探す 住所を入力することで、その地域の災害リスクを調べることができます
※現在地から探す

◆各自治体

地域のハザードマップを閲覧する
（わがまちハザードマップ）

市町村が法に基づき作成・公開したハザードマップを閲覧します。

こちらは、自治体の
地域情報と災害種別を
入れる事で見れます。

住所を入れて「検索」すると、
検索した住所周辺のリスク情報が
文字で表示されますが、表示され
ない場合は画面右側の
「リスク検索」を押してみよう。

「洪水」のボタンを押してカーソルを下げると
「浸水継続時間」の文字が出てきます。
「凡例」を選ぶと色別の説明が見れます。

誰でも防災情報を得やすい【耳で聴くハザードマップ】

総務省「情報アクセシビリティ好事例2024」選出

Uni-Voice (iOS/Android両方に対応)の、
すべての人が情報を得やすいように音声
ガイドが付いています。検索した場所の気象
情報、ハザードマップを表示してくれます。
また、Uni-Voice Blindでは、
見えない・見えにくい人向けに、アイコンの色
や大きさ、にも配慮がされています。



無料
のアプリです

今いる地点から
避難所までの経路
情報を音声でも、
視覚的にも、案内
してくれるので、
知らない場所でも
避難がしやすい！

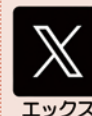
新安否確認システム - Vjica(ヴジカ) の運用スタート

職員やクライアントの安否を迅速かつ正確に確認することは、事業継続する為に
欠かせない要素です！この度、株式会社土屋では独自のシステム開発を行い、所属する
全社員を対象とした安否確認システムVjica(ヴジカ)を2025年2月より運用開始します。

！災害発生後の優先順位

1. 「ヴジカ」からのメールにあるgoogleフォームに安否を返信。
2. 「ヴジカ」からの返信が難しい場合は、
Chatworkや電話、災害伝言ダイヤル・Web伝言板171などを
使用し、必ず管理者に安否を伝えてください。

【土屋防災委員会】の



をフォロー
お願いします！
エックス



アカウント登録
をして、防災に
関する様々な
情報をGET !!